

平成 30 年 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。平成 30 年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

本年 2018 年は、日本とクロアチアにとって、記念すべき年です。クロアチアは 1991 年に独立宣言をしました。翌年、日本はクロアチアを国家として承認し、さらに、翌々年の 1993 年 3 月、日本とクロアチアは外交関係を樹立しました。本年は、両国の外交関係樹立から 25 周年を迎えます。

在クロアチア日本大使館では、在京クロアチア大使館とも協力しつつ、また、両国の関係者の方々の多大なご理解とご協力をいただきながら、この 2018 年を、これまでの 25 年間に振り返りつつ、両国の更なる関係強化に向けた重要な年として位置付け、このためのいろいろな行事や事業を行う予定です。

クロアチアでは、マルコ・ポーロはクロアチアの南部のコルチュラ島で生まれたとされています。マルコ・ポーロの「東方見聞録」では、日本は「黄金の国」として紹介されていることにちなみ、この 1 年の行事や事業を通じて、日本のすばらしい「黄金」の文化、社会、経済について、クロアチアの皆さんに再発見していただきたいと考えています。

日本大使館では、25 周年を祝うシンボルマークを策定しました。

<http://www.hr.emb-japan.go.jp/jp/2018/logo-explanation.html>

クロアチアには、日本では「クロアチア・ハート」としても紹介されている「リツィタル」と呼ばれるジンジャー・ブレッドがあります。これは、もともとクロアチア北部で作られていたもので、UNESCO の無形文化遺産にも登録されているものです。リツィタルには、小さな鏡が付けられていることが多いのですが、このようなリツィタルは、「私の心にはいつもあなたが映っている」という気持ちを込めて、愛する人にこれを渡すという習慣があります。このシンボルマークは、このリツィタルにまつわる習慣を踏まえたもので、クロアチアの人々の心にはいつも日本が映っていて欲しい、という私たちの気持ちを表したものです。

この 1 年の行事や事業については、随時、このホームページで紹介いたします。できるだけ多くのクロアチア皆さん、そして日本の皆さんにも関心を持っていただき、可能であれば、是非参加していただければと思います。

日本とクロアチアにとって重要な 1 年が始まります。皆さんのご協力をいただきながら、日本とクロアチアとの更なる関係の強化に向けて、大使館全員で取り組んでまいります。引き続き、よろしく願いいたします。

2018 年 1 月 1 日
在クロアチア特命全権大使
瀧口 敬二